



第39回 日本脳卒中の外科学会
ランチョンセミナー4(LS-4)

STROKE
2010

脳SPECT/PETの 脳血管外科への応用

座 長

清水 宏明先生 東北大学大学院医学系研究科 神経病態制御学分野

演 者

黒田 敏先生 北海道大学医学研究科 神経外科

日 時

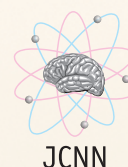
平成22年 4月15日(木)
12:00~13:00

会 場

D会場(岩手県公会堂 大ホール)
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11番 2号



共 催:第39回日本脳卒中の外科学会
日本脳神経核医学研究会
富士フイルムRIファーマ株式会社



FUJIFILM
富士フイルム RIファーマ株式会社

脳SPECT/PETの脳血管外科への応用

黒田 敏 先生 北海道大学医学研究科 神経外科

長年の研究により脳SPECTおよびPETは閉塞性頸動脈疾患における手術適応の決定、手術リスクの予測、あるいは、長期予後の予測に有用であることが明らかとなっている。特に、acetazolamide反応性は脳血行不全を検出するための有効なパラメータと考えられており、国内ではJET Studyという多施設共同研究として大きな成果をあげるに到っている。また、現在、米国では脳酸素抽出率(OEF)を指標とした多施設共同研究(COSS)が進行中である。

本セミナーでは、内頸動脈あるいは中大脳動脈の閉塞病変に起因するTIAや軽症脳梗塞、もやもや病に起因するさまざまな病態を脳循環動態の面から検証し、さまざまな脳血行再建術の効果について紹介したい。

About JCNN 日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F 日本コンベンションサービス株式会社内
Tel:03-3508-1214 Fax:03-3508-1302 E-mail:infojcnn@convention.co.jp

